



石心草

全

14
3157
31









Handwritten text in cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written in a fluid, connected style across approximately 10 lines.

Handwritten text in cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written in a fluid, connected style across approximately 10 lines.



高は... 峰... 合... 得... 物... 批... 花... 山...

高... 程... ち... ば... 人... 思...































内出... ○郭公 ホト、キス 子 ホト、キス 子 ホト、キス 子 ホト、キス

○下ゆ... ○細 ホカ 糸 ホカ 糸 ホカ 糸 ホカ 糸

○子瓜 ホシウリ 子瓜 ホシウリ 子瓜 ホシウリ 子瓜 ホシウリ

○帽子子 ホシ 帽子子 ホシ 帽子子 ホシ 帽子子 ホシ

○細江 ホシ 細江 ホシ 細江 ホシ 細江 ホシ

○平家 ヘイケ 平家 ヘイケ 平家 ヘイケ 平家 ヘイケ

○部屋 ヘ 部屋 ヘ 部屋 ヘ 部屋 ヘ

○紅粉 ベニ 紅粉 ベニ 紅粉 ベニ 紅粉 ベニ

○お彩 ニ お彩 ニ お彩 ニ お彩 ニ

○豊の明 トヨ 豊の明 トヨ 豊の明 トヨ 豊の明 トヨ

○年 トシ 年 トシ 年 トシ 年 トシ

○戸 ト 戸 ト 戸 ト 戸 ト

○戸 ト 戸 ト 戸 ト 戸 ト

○戸 ト 戸 ト 戸 ト 戸 ト

○戸 ト 戸 ト 戸 ト 戸 ト

○直宿 ト 直宿 ト 直宿 ト 直宿 ト

○



○管算 トキ 居る トキ ○管屋 トキ 居る トキ

○管ぬく船 トキ ○友 トモ 友人 トモ 友人 トモ

○殿 トキ 町 トキ 二階 トキ ○床 トキ 床 トキ

○木 トキ 木 トキ ○鳥 トキ 鳥 トキ

○鳥甲 トキ 鳥 トキ ○鳥 トキ 鳥 トキ

○鳥 トキ 鳥 トキ ○鳥 トキ 鳥 トキ

○鳥 トキ 鳥 トキ ○鳥 トキ 鳥 トキ

○鳥 トキ 鳥 トキ ○鳥 トキ 鳥 トキ

○鳥 トキ 鳥 トキ ○鳥 トキ 鳥 トキ

○鳥 トキ 鳥 トキ ○鳥 トキ 鳥 トキ

○鳥 トキ 鳥 トキ ○鳥 トキ 鳥 トキ

○鳥 トキ 鳥 トキ ○鳥 トキ 鳥 トキ

○鳥 トキ 鳥 トキ ○鳥 トキ 鳥 トキ

○鳥 トキ 鳥 トキ ○鳥 トキ 鳥 トキ

○鳥 トキ 鳥 トキ ○鳥 トキ 鳥 トキ

○鳥 トキ 鳥 トキ ○鳥 トキ 鳥 トキ

○鳥 トキ 鳥 トキ ○鳥 トキ 鳥 トキ

○鳥 トキ 鳥 トキ ○鳥 トキ 鳥 トキ

○鳥 トキ 鳥 トキ ○鳥 トキ 鳥 トキ

○鳥 トキ 鳥 トキ ○鳥 トキ 鳥 トキ

○鳥 トキ 鳥 トキ ○鳥 トキ 鳥 トキ

○鳥 トキ 鳥 トキ

○鳥 トキ 鳥 トキ

○鳥 トキ 鳥 トキ

○鳥 トキ 鳥 トキ

○鳥 トキ 鳥 トキ

○鳥 トキ 鳥 トキ

○鳥 トキ 鳥 トキ

○鳥 トキ 鳥 トキ

○鳥 トキ 鳥 トキ

○鳥 トキ 鳥 トキ

○鳥 トキ 鳥 トキ

○鳥 トキ 鳥 トキ

○鳥 トキ 鳥 トキ

○鳥 トキ 鳥 トキ

○鳥 トキ 鳥 トキ

○鳥 トキ 鳥 トキ

○鳥 トキ 鳥 トキ

○鳥 トキ 鳥 トキ

○鳥 トキ 鳥 トキ

○鳥 トキ 鳥 トキ

○鳥 トキ 鳥 トキ



○止トハルにセキ昇アあハ傘ハ又ハ白ハ神ハまハり  
○古ハ遠ハくハり

○ちハ早ハ振ハるハり  
○ちハもハ二ハ白ハ蛇ハ

○千ハ早ハ振ハるハり  
○千ハのハ字ハ三ハ百ハ八ハのハ字ハ  
○千ハのハ字ハ四ハ七ハ八ハとハ云ハ

○千ハ里ハ振ハるハり  
○路ハのハ字ハ二ハ百ハ八ハのハ字ハ  
○街ハのハ字ハ三ハ百ハ八ハのハ字ハ

○中ハ風ハ振ハるハり  
○路ハのハ字ハ二ハ百ハ八ハのハ字ハ  
○街ハのハ字ハ三ハ百ハ八ハのハ字ハ

○傘ハのハ字ハ三ハ百ハ八ハのハ字ハ  
○茶ハのハ字ハ三ハ百ハ八ハのハ字ハ  
○大ハのハ字ハ三ハ百ハ八ハのハ字ハ

○塵ハのハ字ハ三ハ百ハ八ハのハ字ハ  
○散ハのハ字ハ三ハ百ハ八ハのハ字ハ  
○傘ハのハ字ハ三ハ百ハ八ハのハ字ハ

○散ハのハ字ハ三ハ百ハ八ハのハ字ハ  
○傘ハのハ字ハ三ハ百ハ八ハのハ字ハ  
○茶ハのハ字ハ三ハ百ハ八ハのハ字ハ

○児ハのハ字ハ三ハ百ハ八ハのハ字ハ  
○茶ハのハ字ハ三ハ百ハ八ハのハ字ハ  
○大ハのハ字ハ三ハ百ハ八ハのハ字ハ

○律ハのハ字ハ三ハ百ハ八ハのハ字ハ  
○龍ハのハ字ハ三ハ百ハ八ハのハ字ハ  
○宮ハのハ字ハ三ハ百ハ八ハのハ字ハ

○律ハのハ字ハ三ハ百ハ八ハのハ字ハ  
○龍ハのハ字ハ三ハ百ハ八ハのハ字ハ  
○宮ハのハ字ハ三ハ百ハ八ハのハ字ハ

○律ハのハ字ハ三ハ百ハ八ハのハ字ハ  
○龍ハのハ字ハ三ハ百ハ八ハのハ字ハ  
○宮ハのハ字ハ三ハ百ハ八ハのハ字ハ

○律ハのハ字ハ三ハ百ハ八ハのハ字ハ  
○龍ハのハ字ハ三ハ百ハ八ハのハ字ハ  
○宮ハのハ字ハ三ハ百ハ八ハのハ字ハ

○律ハのハ字ハ三ハ百ハ八ハのハ字ハ  
○龍ハのハ字ハ三ハ百ハ八ハのハ字ハ  
○宮ハのハ字ハ三ハ百ハ八ハのハ字ハ

○律ハのハ字ハ三ハ百ハ八ハのハ字ハ  
○龍ハのハ字ハ三ハ百ハ八ハのハ字ハ  
○宮ハのハ字ハ三ハ百ハ八ハのハ字ハ

○律ハのハ字ハ三ハ百ハ八ハのハ字ハ  
○龍ハのハ字ハ三ハ百ハ八ハのハ字ハ  
○宮ハのハ字ハ三ハ百ハ八ハのハ字ハ



○ぬるふ ぬるふ 二万短油也 ○平ぬ ぬ のぬる方二万このぬる

○濡 ヌル 水にぬれしものぬる也 ○ぬるま ヌルマ 二万五分

○縫 ヌイ の少袖小ぬるぬる 袖 ぬるぬる 二万五分

○る ル ののる ル 二万五分 二万五分 ○る ル のる ル 二万五分

○る ル のる ル 二万五分 二万五分 ○る ル のる ル 二万五分

○を ヲ 園 エン 二万五分 二万五分 ○小 コ 聖 セイ 二万五分

○遠 エン 近 キン 二万五分 二万五分 ○二 ニ 日 ニチ

○二 ニ 日 ニチ 二万五分 二万五分 ○二 ニ 日 ニチ

○小 コ 舟 フネ 二万五分 二万五分 ○小 コ 小 コ 二万五分

○女 メ 花 ハナ 二万五分 二万五分 ○女 メ 花 ハナ

○女 メ 花 ハナ 二万五分 二万五分 ○女 メ 花 ハナ

○女 メ 花 ハナ 二万五分 二万五分 ○女 メ 花 ハナ

○女 メ 花 ハナ 二万五分 二万五分 ○女 メ 花 ハナ

○女 メ 花 ハナ 二万五分 二万五分 ○女 メ 花 ハナ

○女 メ 花 ハナ 二万五分 二万五分 ○女 メ 花 ハナ

○女 メ 花 ハナ 二万五分 二万五分 ○女 メ 花 ハナ

○女 メ 花 ハナ 二万五分 二万五分 ○女 メ 花 ハナ

○女 メ 花 ハナ 二万五分 二万五分 ○女 メ 花 ハナ

○女 メ 花 ハナ 二万五分 二万五分 ○女 メ 花 ハナ



た人... 〇女小いと... 〇鬼... 〇おろろ

〇我名... 〇王に... 〇和音に

〇五に... 〇和田の原... 〇和音に

〇別... 〇涙の... 〇涙の別れ

〇別... 〇別... 〇別

〇後... 〇わさ田... 〇別

〇名... 〇お茶... 〇お茶

〇お... 〇服指... 〇服指

〇口... 〇殿... 〇殿

〇わ... 〇綿... 〇綿

〇あ... 〇あ

〇か... 〇神... 〇神

〇

〇



















此方面とては傘、忌根  
根二山獄二傘小山宮ニ云  
竹よちいらあらうげり ○こ

根二山獄二傘小山宮ニ云  
○高の字ハツシヤ ○こ

小多の字ハツシヤ ○こ

玉ハの字ハツシヤ ○こ

谷ハの字ハツシヤ ○こ

竹ハの字ハツシヤ ○こ

竹ハの字ハツシヤ ○こ

竹ハの字ハツシヤ ○こ

竹ハの字ハツシヤ ○こ

竹ハの字ハツシヤ ○こ

竹ハの字ハツシヤ ○こ

竹ハの字ハツシヤ ○こ

竹ハの字ハツシヤ ○こ

竹ハの字ハツシヤ ○こ

竹ハの字ハツシヤ ○こ

竹ハの字ハツシヤ ○こ

竹ハの字ハツシヤ ○こ

竹ハの字ハツシヤ ○こ

竹ハの字ハツシヤ ○こ

竹ハの字ハツシヤ ○こ

竹ハの字ハツシヤ ○こ

竹ハの字ハツシヤ ○こ

竹ハの字ハツシヤ ○こ

竹ハの字ハツシヤ ○こ

竹ハの字ハツシヤ ○こ

竹ハの字ハツシヤ ○こ

竹ハの字ハツシヤ ○こ

竹ハの字ハツシヤ ○こ

竹ハの字ハツシヤ ○こ

竹ハの字ハツシヤ ○こ

竹ハの字ハツシヤ ○こ

竹ハの字ハツシヤ ○こ

竹ハの字ハツシヤ ○こ

竹ハの字ハツシヤ ○こ

竹ハの字ハツシヤ ○こ

竹ハの字ハツシヤ ○こ



○驚物 驚の字 ○漲 水に漲る ○作 作る

○田 田の字 ○田 田の字 ○田 田の字

○立田 立の字 ○立 立の字 ○立 立の字

○紗 紗の字 ○松 松の字 ○藤 藤の字

○藤 藤の字 ○藤 藤の字 ○藤 藤の字

○種 種の字 ○種 種の字 ○種 種の字

○燧 燧の字 ○燧 燧の字 ○燧 燧の字

○た たの字 ○た たの字 ○た たの字

○黄昏 黄昏の字 ○黄昏 黄昏の字 ○黄昏 黄昏の字

○明 明の字 ○明 明の字 ○明 明の字

○丹 丹の字 ○丹 丹の字 ○丹 丹の字

○燧 燧の字 ○燧 燧の字 ○燧 燧の字

○松 松の字 ○松 松の字 ○松 松の字

○短 短の字 ○短 短の字 ○短 短の字

○大 大の字 ○大 大の字 ○大 大の字

○大 大の字 ○大 大の字 ○大 大の字















































屋上二内一八名 ○奥の字ハツの字 奥の海老子

○親 子斗りカ ○親子 二名姓親カト

○男 斗りカ ○男 斗りカ

○鬼 一斗カ

○落茶 二名カ

○親 一斗カ

○大井川

○尾茶

○秋 一斗カ

○思の字

○思の字

○思の字

○思の字

○思の字

○思の字

○思の字

○思の字

○思の字

○思の字

○思の字















○矢の矢に弓 物に矢 年の矢

○流瀉馬 舟に矢 瀉に矢

○疑のや 疑のや 疑のや

○山路 山路 山路

○松に松 松に松 松に松

○松風 松風 松風

○松の松 松の松 松の松

○松の松 松の松 松の松

○松の松 松の松 松の松

○松の松 松の松 松の松

○松の松 松の松 松の松

○松の松 松の松 松の松

○松の松 松の松 松の松

○松の松 松の松 松の松

○松の松 松の松 松の松

○松の松 松の松 松の松



























田字より又神の公にけりて美田字なりし  
しは多きと云ふにあらざるもの内し

○<sup>七</sup>神に於ては但し神に  
○<sup>八</sup>神に於ては但し神に

○<sup>九</sup>神に於ては但し神に

○<sup>十</sup>神に於ては但し神に

○<sup>十一</sup>神に於ては但し神に

○<sup>十二</sup>神に於ては但し神に

○<sup>十三</sup>神に於ては但し神に

○<sup>十四</sup>神に於ては但し神に

○<sup>十五</sup>寺に 金剛峯が南禅寺の如く神像に井も有り

○<sup>十六</sup>寺に 金剛峯が南禅寺の如く神像に井も有り

○<sup>十七</sup>寺に 金剛峯が南禅寺の如く神像に井も有り

○<sup>十八</sup>寺に 金剛峯が南禅寺の如く神像に井も有り

○<sup>十九</sup>天 四ツの字連て寺の四ツの字連て寺

○<sup>二十</sup>天 四ツの字連て寺の四ツの字連て寺

○<sup>二十一</sup>天 四ツの字連て寺の四ツの字連て寺

○<sup>二十二</sup>天 四ツの字連て寺の四ツの字連て寺

○<sup>二十三</sup>天 四ツの字連て寺の四ツの字連て寺

○<sup>二十四</sup>天 四ツの字連て寺の四ツの字連て寺

○<sup>二十五</sup>天 四ツの字連て寺の四ツの字連て寺

○<sup>二十六</sup>天 四ツの字連て寺の四ツの字連て寺















































○ミヤウジシ精進中外御之位 ○シヨクダイト燭其に燈 ○シヤウギ将夏余に

ゴ尺八に笛 ○シヨクダイト志乃竹 ○シヨクダイト将一

玄初百百 ○シヨクダイト下下 ○シヨクダイト下下

○シヨクダイト下下 ○シヨクダイト下下

○シヨクダイト下下 ○シヨクダイト下下

○シヨクダイト下下 ○シヨクダイト下下

○シヨクダイト下下 ○シヨクダイト下下

○シヨクダイト下下 ○シヨクダイト下下

○シヨクダイト珠數ス ○シヨクダイト燭に ○シヨクダイト志下

○シヨクダイト東雲に ○シヨクダイト白下

○シヨクダイト鹿一 ○シヨクダイト廉一

○シヨクダイト師一

○シヨクダイト海一

○シヨクダイト繪一

○シヨクダイト法一

○シヨクダイト海一







○日傘

一日も雨もあらずに五時頃下りやうと云ふに傘は上と云ふ字もあらず別物と云ふは又別物と云ふは

○光

光月日影 吾目石於津仏中より光りしを光と云ふは又光と云ふは

○花

花は人喜ぶ傘は文と申すは花は一村 一村あるは一村

○久

久は一村と云ふは一村と云ふは一村と云ふは一村と云ふは

○火

火は別と云ふは火の七白燈傘は火の上五内一なるは

○檜原

檜原は一村と云ふは一村と云ふは一村と云ふは一村と云ふは

○一

一は一村と云ふは一村と云ふは一村と云ふは一村と云ふは

○水室

水室は一村と云ふは一村と云ふは一村と云ふは一村と云ふは















つらつら住らるる花 ○とりのくにわらわしむ

井辺（三ノ下）藁（テリ）木子（ス）昔（ハ）苦（ハ）肥（ハ）とら組山谷詩にあり 注書にのら

菜蚕（ハ）と書しと菜と同字なり ○珍麻

の鼻（セキ）とら組山谷詩にあり 注書にのら

○醜（ス）とら組山谷詩にあり 注書にのら

○相撲（ス）とら組山谷詩にあり 注書にのら

○末摘花（ス）とら組山谷詩にあり 注書にのら

○とら組山谷詩にあり 注書にのら

草木乃 是名并 一奇

かか入法（ハ）とら組山谷詩にあり 注書にのら

○初代（ハ）とら組山谷詩にあり 注書にのら

○千代（ハ）とら組山谷詩にあり 注書にのら

○根白菜（ハ）とら組山谷詩にあり 注書にのら

○とら組山谷詩にあり 注書にのら

○とら組山谷詩にあり 注書にのら

○とら組山谷詩にあり 注書にのら

○とら組山谷詩にあり 注書にのら



















○六つをきく 物より受くるはてそのつらう  
多れ 物より受くるはてそのつらう

○雑の部

○夕見子 物より受くるはてそのつらう  
夕見子 物より受くるはてそのつらう

○暮見子 物より受くるはてそのつらう  
暮見子 物より受くるはてそのつらう

○朝見子 物より受くるはてそのつらう  
朝見子 物より受くるはてそのつらう

○物見子 物より受くるはてそのつらう  
物見子 物より受くるはてそのつらう

○物見子 物より受くるはてそのつらう  
物見子 物より受くるはてそのつらう

○福見子 物より受くるはてそのつらう  
福見子 物より受くるはてそのつらう

○戀種 物より受くるはてそのつらう  
戀種 物より受くるはてそのつらう

○同種 物より受くるはてそのつらう  
同種 物より受くるはてそのつらう

○奥書 乃 追加

法也 物より受くるはてそのつらう  
法也 物より受くるはてそのつらう

とき 物より受くるはてそのつらう  
とき 物より受くるはてそのつらう

赤子 朱丹 物より受くるはてそのつらう  
赤子 朱丹 物より受くるはてそのつらう

之 物より受くるはてそのつらう  
之 物より受くるはてそのつらう

入道 物より受くるはてそのつらう  
入道 物より受くるはてそのつらう



おろはすは下より下戸  
 腕ふみ手に上より下  
 蛸はくもやまら観る如  
 ほきふしりもはきしり午手  
 午手多き蛸乃入道一たを  
 としりしはふきしりまのふ  
 我し是をわしりし観る如  
 法慈悲がしりし観るの志ひ

のふかしりしはふきしりまのふ  
 鼻はなしりしはふきしりまのふ  
 見しりしはふきしりまのふ  
 面と好しりしはふきしりまのふ  
 見しりしはふきしりまのふ



